

**「経営の健全化のための計画」**  
**(金融機能の早期健全化のための緊急措置に関する法律第5条)**  
**の履行状況に関する報告書**

(貸出金の推移)

平成11年12月  
中央信託銀行株式会社

## 「貸出金の推移」について

- ・ 11年9月末の実績等の状況について

### (1) 国内貸出の動向

11年9月末の国内貸出（インパクトローンを除く実勢ベース）は11年3月末比1,151億円増加しました。企業の設備投資抑制などを反映し前向きな資金需要の乏しい環境ではありましたが、当社では新規取引先の開拓（11/上半期553社、うち中小企業457社）を含め積極的な貸出姿勢を堅持した結果、大幅な貸出純増を達成しております。

### (2) 中小企業向け貸出

11年9月末の中小企業向け貸出（インパクトローンを除く実勢ベース）は11年3月末比648億円増加しました。期初の出足はやや低調でしたが、期末にかけて小口案件の積み上がりが顕著となり、大幅な純増を達成しました。拓銀承継店舗における営業推進体制の整備が寄与したほか、全店で積極的な新規先開拓を進めてきた成果が表われてきています。

### (3) 個人向け貸出

11年9月末の個人向け貸出は11年3月末比179億円増加しました。うち住宅ローンは62億円の増加となっています。当社では従来からリテール取引基盤の強化を重点課題として住宅ローンなどの増強を推進しており、当上半期は、上・下期較差の影響から前下半期の増加実績をやや下回ったものの、上半期としては過去最高の純増となりました。

- ・ 12年3月末計画の実施へ向けての取り組みについて

### (1) 国内貸出の動向

12年3月末残高の計画達成に向けて、国内貸出（インパクトローンを除く実勢ベース）は下半期純増772億円が必要となります。引き続き厳しい融資環境が予想されますが、上半期実績（純増1,151億円）を踏まえ、積極的な貸出運営の持続により計画達成を目指します。また、新規先の開拓を引き続き推進するほか、営業幹旋やM&A、株式公開支援など情報開発機能の強化を図り、良質な資金需要の掘り起こしに努める方針です。

### (2) 中小企業向け貸出

12年3月末残高の計画達成に向けて、中小企業向け貸出（インパクトローンを除く実勢ベース）は下半期純増291億円が必要となります。人事交流などを通じて拓銀承継店舗における中小企業取引ノウハウを既存店舗にも導入、信用保証協会保証付貸出の積極的な活用などの推進が奏功し、上半期は計画を上回る実績（純増648億円）となりましたので、下半期についても引き続き中小企業取引の基盤拡大を重点施策として推進してまいります。

### (3) 個人向け貸出

12年3月末残高の計画達成に向けて、個人向け貸出は下半期純増361億円が必要となります。うち住宅ローンは345億円の純増が必要です。上半期実績を勘案するとかなり高水準の目標とはなりますが、不動産業者などの安定的な情報ルートの確立や顧客ニーズに沿ったローンの商品性改善などの施策を一段と強化し、住宅ローンを中心とした取組件数の積み上げに注力する方針です。

(図表10)貸出金の推移  
(残高)

(億円)

|             |                | 10/9月末<br>実績<br>(A) | 11/3月末<br>実績<br>(B) | 11/9月末<br>実績<br>(C) | 12/3月末<br>計画<br>(D) | 備考<br>(注3) |
|-------------|----------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|------------|
| 国内貸出        | インパクトローンを含むベース | 34,277              | 44,224              | 44,892              | 46,429              | *1         |
|             | インパクトローンを除くベース | 34,074              | 44,085              | 44,782              | 46,224              | *2         |
| 中小企業向け(注1)  | インパクトローンを含むベース | 15,194              | 16,603              | 16,832              | 17,787              | *3         |
|             | インパクトローンを除くベース | 15,069              | 16,541              | 16,783              | 17,674              | *4         |
| うち保証協会保証付貸出 |                | 1                   | 318                 | 371                 | 381                 | *5         |
| 個人向け        |                | 4,026               | 7,261               | 7,440               | 7,801               | *6         |
| うち住宅ローン     |                | 1,167               | 2,302               | 2,364               | 2,709               | *7         |
| その他         |                | 15,057              | 20,360              | 20,620              | 20,841              | *8         |
| 海外貸出(注2)    |                | 1,671               | 1,194               | 554                 | 1,131               | *9         |
| 合計          |                | 35,948              | 45,418              | 45,446              | 47,560              |            |

(同・実勢ベース<下表の増減要因を除く>)

(億円)

|            |                | 10/9月末<br>実績<br>(A)+(E) | 11/3月末<br>実績<br>(B)+(F) | 11/9月末<br>実績<br>(C)+(F)+(G) | 12/3月末<br>計画<br>(注) | 備考<br>(注3) |
|------------|----------------|-------------------------|-------------------------|-----------------------------|---------------------|------------|
| 国内貸出       | インパクトローンを含むベース | 34,519                  | 46,258                  | 47,384                      | 48,226              | *10        |
|            | インパクトローンを除くベース | 34,316                  | 46,098                  | 47,249                      | 48,021              | *11        |
| 中小企業向け(注1) | インパクトローンを含むベース | 15,228                  | 18,295                  | 18,934                      | 19,264              | *12        |
|            | インパクトローンを除くベース | 15,103                  | 18,212                  | 18,860                      | 19,151              | *13        |

(注)11年3月に承認された健全化計画より引用。

(注1)中小企業とは、資本金1億円(但し、卸売業は30百万円、小売業、飲食業、サービス業は10百万円)以下の会

社または常用する従業員が300人(但し、卸売業は100人、小売業、飲食業、サービス業は50人)以下の会社を指す。

(注2)当該期の期末レートで換算。

(注3)状況説明は備考欄にマークするとともに別紙にまとめて記載。

(不良債権処理等に係る残高増減)

|                  | 10/上期中<br>実績<br>(E) | 10年度中<br>実績<br>(F) | 11年度<br>上期実績<br>(G) | 11年度中<br>計画<br>(H) | 備考<br>(注3) |
|------------------|---------------------|--------------------|---------------------|--------------------|------------|
| 貸出金償却            | 59 (34)             | 352 (266)          | 204 (182)           | 204 (81)           | *14        |
| CCPC向け債権売却額      | - (-)               | - (-)              | - (-)               | - (-)              | *15        |
| 債権流動化(注4)        | 183 (-)             | 57 (-)             | - (-)               | 0 (-)              | *16        |
| 会計上の変更(注5)       | - (-)               | 1,372(1,208)       | 119 (95)            | 35 (14)            | *17        |
| 協定銀行等への資産売却額(注6) | - (-)               | - (-)              | - (-)               | - (-)              | *18        |
| その他不良債権処理関連      | - (-)               | 367 (218)          | 135 (133)           | 12 (12)            | *19        |
| 計                | 242 (34)            | 2,034(1,692)       | 458 (410)           | 251 (107)          |            |

(注4)一般債権流動化のほか、債権の証券化を含む。

(注5)会計方法の変更により資産から控除される間接償却部分等。

(注6)金融機能の再生のための緊急措置に関する法律第53条で定められた協定銀行等への債権売却額。

( 図表 1 0 - 1 別紙 )

11年9月末の進捗状況と下期の施策

( 残高 )

|        |              | 今年度<br>要増加額 | 11/3月末比<br>増減額 | 進捗状況および下期の重点施策等   |
|--------|--------------|-------------|----------------|---|
| 国内貸出   | インバ含み *1     | 2,205       | 668            | 不良債権処理等を上期に前倒して実施しており、実勢ベースでは1,000億円以上の純増と概ね見込み通りの実績となりました。下期についても引き続き積極的な貸出運営を実施しています(下期見込みは実勢ベースにて説明)。            |
|        | インバ除き *2     | 2,139       | 697            | 同上  |
| 中小企業向け | インバ含み *3     | 1,184       | 229            | 年度計画を上回る約400億円の不良債権処理を実施、実勢ベースでは当初見込みを上回る純増を達成しており、10年下期の未達分の挽回も含めて順調に進捗しています(下期見込みは実勢ベースにて説明)。                     |
|        | インバ除き *4     | 1,133       | 242            | 同上  |
|        | ウチ保証協会保証付 *5 | 63          | 53             | 中小企業向け貸出推進の一環として信用保証協会保証付貸出の活用に注力しています。拓銀承継店舗における利用ノウハウの全店への浸透もあって、上期実績は計画を大きく上回りました。                               |
| 個人向け   | *6           | 540         | 179            | 上期200億円の見込みをやや下回る実績となりましたが、金利面の柔軟対応等による新規案件獲得と借換え防衛に努めております。下期も引き続き住宅ローンだけでなくアパートローン等の事業性貸出についても良質案件の取り込みを推進する方針です。 |
|        | ウチ住宅ローン *7   | 407         | 62             | 住宅ローン増強を今年度の重点施策として、不動産業者からの情報ルート構築等を推進しています。10年下期の未達分もあり今下期は高水準の目標となりますが、例年下期は多くの竣工案件が見込まれることから、引き続き重点的な推進を実施します。  |
| その他    | *8           | 481         | 260            | 上期は概ね見込み通りの実績となりました。昨年来の積極姿勢が取引先企業に評価を受けており、設備投資等の資金需要は乏しい中ではありますが、まず順調な進捗状況とみております。                                |
| 海外貸出   | *9           | 63          | 640            | 海外支店閉鎖により大幅な純減となっており、12年3月末実績も計画未達成となる見通しです。  |

( 同・実勢ベース )

|        |           |       |       |  |
|--------|-----------|-------|-------|--|
| 国内貸出   | インバ含み *10 | 1,968 | 1,126 | 上期実績は中小企業向けを主体として順調に積み上がっています。拓銀承継店舗と既存店舗での人事交流等による中小企業取引ノウハウ習得等が功を奏しつつあり、下期についても積極的な新規先の開拓等により大幅な貸出純増を予定しています。  |
|        | インバ除き *11 | 1,923 | 1,151 | 同上   |
| 中小企業向け | インバ含み *12 | 969   | 639   | ノンバンク・不動産向けの回収による減少圧力が強い為、期初低調な出足となりましたが、信用保証協会保証付貸出の活用や専用ファンド設定等による新規先の開拓を積極的に推進した結果、期末にかけて小口案件の積み上がりが見られ、当初見込みを大きく上回る実績となりました。下期についても中小企業の取引基盤拡大は重点課題としており、特に営業斡旋や株式公開支援等を切り口とした案件の掘り起こしに注力する方針です。 |
|        | インバ除き *13 | 939   | 648   | 同上   |

( 不良債権処理等に係る残高増減 )

|              |     |         |          |   |
|--------------|-----|---------|----------|---|
| 貸出金償却        | *14 | 204(81) | 204(182) | ほぼ今年度の見込み額相当を上期に前倒して償却しております。                                 |
| CCPC向け債権売却額  | *15 | -       | -        | 実績はありません(計画通り)。   |
| 債権流動化        | *16 | -       | -        | 3月末以降、債権流動化の実績はありません。   |
| 会計上の変更       | *17 | 35(14)  | 119(95)  | 今年度の見込みを大きく上回る処理を実施しました。                                      |
| 協定銀行等への資産売却額 | *18 | -       | -        | 実績はありません(計画通り)。   |
| その他不良債権処理関連  | *19 | 12(12)  | 135(133) | 債権放棄に伴うプロラタ返済、日債銀の破綻子会社に関する代位弁済受領等で当初見込みを大きく上回る不良債権処理を行っています。 |